



インタラクティブ・フラットパネル

ユーザーマニュアル

法的情報

この文書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が記載されています。以下、写真、図表、画像、その他すべての情報は、説明のためのものです。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本書の最新版はHikvisionのウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、杭州Hikvision Digital Technology Co., Ltd.またはその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援を受けながら、本書を使用してください。

この商品について

- 本製品は、購入された国または地域においてのみアフターサービスを受けることができます。
- お選びいただいた商品が映像商品の場合は、以下のQRコードを読み取って「映像商品の利用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権の承認

- Hikvisionは、本書に記載された製品に具現化された技術に関連する著作権および / または特許を所有し、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- テキスト、画像、グラフィックス等を含む本書のいかなる部分も、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本書の一部または全部を抜粋、複写、翻訳、改変することを禁じます。
- **HIKVISION** およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、様々な管轄区域におけるHikvisionの所有物です。
- その他記載されている商標およびロゴは、各所有者の財産です。
- **HDMI**™ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

免責事項

- 適用される法律で許可される最大限の範囲において、本書および記載された製品、そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアは、「現状のまま」、「すべての欠点およびエラーとともに」提供されます。Hikvisionは、明示または黙示を問わず、商品性、満足度のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれに限定されない、いかなる保証も行いません。お客様による本製品の使用は、お客様自身の責任において行われるものとし、Hikvisionは、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他に基づくか否かを問わず、本製品の使用に関連して、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、ドキュメンテーションの損失など、特別損害、派生的損害、偶発的損害、または間接的損害について、たとえHikvisionがそのような損害または損失の可能性を知らされていたとしても、いかなる場合も責任を負いません。
- インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在しており、Hikvisionはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネット上のセキュリティ上のリスクに起因する異常動作、プライ

バシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。

- お客様は、適用されるすべての法律に従って本製品を使用することに同意し、お客様の使用が適用される法律に適合していることを確認する責任を単独で負うものとします。特に、お客様は、肖像権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負うものとします。大量破壊兵器の開発または生産、化学兵器または生物兵器の開発または生産、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する活動、または人権侵害の支援など、禁止されている最終用途のために本製品を使用してはなりません。
- 本書と適用される法律の間に矛盾がある場合は、後者が優先されます。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co.無断複写・転載を禁じます。

序文

対象モデル

本マニュアルは、インタラクティブフラットパネルに適用されます。

シンボル規約

本書で使用される記号は以下のように定義されている。

シンボル	説明
 Danger	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データ損失、性能低下、または予期せぬ結果を招く可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Note	本文の重要なポイントを強調または補足するための追加情報を提供する。

内容

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	運転および保守上の注意	2
2.1	電源ケーブルの使用	3
2.2	クリーニングとメンテナンス	3
第 3 章	接続と設置	5
3.1	設置時の注意事項	5
3.2	外観とインターフェース	5
3.2.1	フロントパネルとインターフェイス	5
3.2.2	メインボード上のインターフェース	8
3.2.3	パーソナルコンピュータ（PC）への接続	8
3.3	内部コンピュータ設置	9
3.4	マウント	10
第 4 章	スタートアップとシャットダウン	14
4.1	デバイスの起動	14
4.1.1	コンピュータボックスなしの場合	14
4.1.2	コンピュータボックスとの組み合わせ	14
4.2	エコ・モード	14
4.3	シャットダウン	15
第 5 章	メニュー操作	16
5.1	基本操作	16
5.2	システムバー	17
5.3	入力ソース	18
5.4	ネットワーク	18
5.5	コントロールメニュー	18
5.5.1	注	20
5.5.2	スクリーンショット	21
5.5.3	投票機	22
5.6	カメラ機能	24
5.6.1	カメラ	24
5.6.2	ビデオ	25
5.6.3	設定	26
第 6 章	システム設定	29
6.1	ネットワーク設定	29
6.1.1	有線ネットワークの設定	29
6.1.2	ワイヤレスネットワーク設定	30
6.1.3	WLAN ホットスポットの設定	31
6.2	ディスプレイ設定	32
6.3	オーディオ設定	34
6.4	言語と入力の設定	34
6.5	時間と日付の設定	35
6.6	アプリケーション管理	35
6.7	ブルートゥース	36

6.8 補助機能.....	36
6.8.1 インテリジェント温度制御.....	36
6.8.2 スマートリモコン.....	37
6.9 高度な設定.....	37
6.10 ユーザー設定.....	40
6.11 デバイス情報.....	41
6.12 ネガティブ・スクリーン.....	41
第7章 インテリジェント・アプリケーション.....	43
7.1 ファイルブラウザ.....	43
7.2 ブラウザー.....	45
7.3 ホワイトボード.....	45
7.3.1 ツールバーの紹介.....	45
7.3.2 ホワイトボードの管理.....	48
7.3.3 ホワイトボードを保存する.....	49
7.3.4 ホワイトボードを共有する.....	50
7.3.5 その他の機能.....	50
7.4 WonderCastServer.....	52
7.4.1 NFC スクリーンミラーリング.....	52
7.4.2 その他のスクリーンミラーリング.....	52
7.5 システム・プリインストール・アプリケーション.....	53
第8章 付録A よくある質問.....	55

Chapter 1 はじめに

インタラクティブ・フラット・パネル（以下、デバイス）は、コンピューター、プロジェクター、インタラクティブ・ホワイトボード、サウンドボックス、広告機などの機能を統合している。このデバイスは、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、ヒューマンマシンインタラクション、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術によって強化され、ユーザーに書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、遠隔ビデオ通話（オプション）などのさまざまな機能を提供します。

主にオフィス、会議室、マルチメディア教室、展示会場などで、遠隔ビデオ会議、研修・指導、医療相談などのイベントに使用される。

主な特徴

- 入力信号の解像度が最大 3840×2160 の Ultra HD ディスプレイが利用可能。
- 20px の超細字で、直径 2mm が 1mm の精度で認識できる。
- USB 3.0 に対応。
- 内蔵 Wi-Fi により、ケーブル接続なしでスクリーンミラーリングを実現。
- インタラクティブホワイトボードシステムを内蔵し、QR コードによる注釈や共有が可能。
- ループアウト表示可能。
- デバイスアクセス用の各種オーディオおよびビデオインターフェース。
- 内蔵ネットワーク・スイッチ・モジュールは、ネットワーク・スイッチを節約します。
- 内蔵のアンドロイド・システムは、様々なアプリケーションを提供する。
- OPS/OPS-C デバイスに対応し、内蔵システムのスムーズな切り替えを実現。
- アルミニウム製フレームを採用した超薄型デザイン。
- モニターを健康に使用するための推奨事項（目の疲れを防ぐ）：長時間画面を見続けないうようにし、時々休憩することをお勧めします。
 - 1時間以上画面を見続けた後は、遠くの景色を眺めて目を癒す；
 - 1時間以上画面を見続けた後は、眼球運動をして目をリラックスさせる。

Chapter 2 操作およびメンテナンスに関する注意事項

本機の液晶パネルは高精度な技術で作られています。しかし、画面上にいつも点灯している、あるいは点灯していない小さな点が観察されたり、横から観察すると色や明るさにムラがあるように見えることがあります。しかし、これらの現象は液晶ディスプレイの故障ではなく、一般的な現象であり、機器の性能に影響を与えるものではありません。

すべてのブルーライトが有害なわけではない。本当に有害なのは 415nm から 455nm の波長のブルーライトであり、反対に 480nm から 500nm の波長のブルーライトは、人体の生体リズムを何らかの形で調整するのに役立つため、人体にとって有益である。Hikvision の低青色光技術はこの事実に基づいている。LED の主な青ピークを調整することにより、この帯域のエネルギーは基本的に減少し、ハードウェアが発する有害な青色光の割合は効果的に減少する。同時に、パネルのカラーフィルムの設計を調整することで、Hikvision は独自に NiceBlue モジュールを開発し、色管理の面で究極の完璧な画質を確保し、視覚保護と表示効果の両方の優れた性能を達成することができます。

- 弊社は、第三者による機器操作時の不具合、その他発生した故障や損害について一切の責任を負いません。
- 火災や故障の原因となりますので、ほこりや湿気の多い場所、油や蒸気のある場所では使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や強い光源の近くには置かないでください。
- 放射線の強い他の機器の近くに本機を置かないでください。
- 本機を雨や湿気の多い場所に置かないでください。
- 不安定な場所や危険な場所にデバイスを置かないでください。強い衝撃、振動、振動を与えないでください。
- 火災の危険を避けるため、加熱装置や高温になる場所の近くでは使用しないでください。
- デバイスを低温環境から高温環境に移した後は、すぐに電源を入れず、結露が蒸発するのを待ってください。
- 装置内に物を入れないでください。
- 装置の上に重いものを置かないでください。
- 本機および付属品は予告なく変更されることがあります。
- ディスプレイは壊れやすい素材のため、落下や衝撃に弱いです。大切にお持ちください。
- デバッグ中や操作中に不適切な操作を行うと、機器に損傷を与える可能性があります。

- 硬いもので本装置を傷つけたり、叩いたりすることは厳禁です。損傷や故障の危険を避けるため、操作中に頻繁に装置の電源をオン/オフしないでください。
- 煙、臭い、ノイズが発生した場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いてから、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地され、シェルのプレートで指定された要件に適合していることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い場所に置かないでください。雷雨の場合は、電源プラグとアンテナを抜いてください。
- 装置を長期間使用しない場合。デバイスの電源をシャットダウンし、電源を抜きます。
- 電源遮断後、短時間放電することがあります。電源遮断後、2分程度待ってから操作してください。
- 本機に付属の純正電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入する場合は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグやソケットにホコリや金属の付着物を付着させないでください。
- いかなる形でもケーブルを改造しないでください。
- ケーブルの上に重いものを置かないでください。
- ケーブルを熱から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- このケーブルはインタラクティブ・ディスプレイにのみ使用できます。他の機器には使用しないでください。

2.2 クリーニングとメンテナンス

- リアシェルの穴は放熱用です。リアシェルに液体をかけたり、スプレーしたり、濡れた布で拭いたりしないでください。
- クリーニングの前に電源プラグを抜いてください。
- 輝度の高い画像を長時間画面に表示しないでください。
- 本機のクリーニングには、乾いた柔らかいほこりのない布を使用してください。
- 内部洗浄についてはサービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスは、特定の初期段階の故障を避けることができる。

- 定期的にクリーニングを行い、新品同様にしてください。
- 水、スプレークリーナー、工業用化学試薬で装置を洗浄しないでください。装置内部に異物が入らないようにしてください。
- 装置のメンテナンスは、資格のあるサービス担当者に依頼してください。デバイスが損傷した場合は、当社までご連絡ください。

Chapter 3 接続と設置

3.1 設置上の注意

- 最高の性能を発揮するために、取り付け前にデバイスの画面と背面をクリーニングしてください。
- 安全のため、メーカーが提供する壁掛け金具またはベースのみを使用してください。
- 壁への取り付けは専門スタッフにご相談ください。
- 取り付け前に付属品を確認してください。不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。
- デバイスをきつく取り付けないでください。画面が歪むことがあります。
- 装置を耐力壁に取り付ける。
- 本機を安定した場所に置くか、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続を容易にするため、利用可能な AC 電源ソケットの近くにデバイスを設置してください。信号の干渉を防ぐため、他の機器と同じアースケーブルを使用してください。
- 本機を機械的振動源の近くに置かないでください。
- 虫の出入りしやすい環境には設置しないでください。
- 結露を避けるため、デバイスを直接エアコンに向けしないでください。
- 電波干渉を避けるため、強い電磁場にデバイスを置かないでください。

3.2 外観とインターフェース

3.2.1 フロントパネルとインターフェース

インタラクティブ・フラット・パネルのインターフェースを以下に示す。



- デバイスのインターフェースはタイプによって異なる。
- 以下の説明は、スクリーンに向かったのものである。

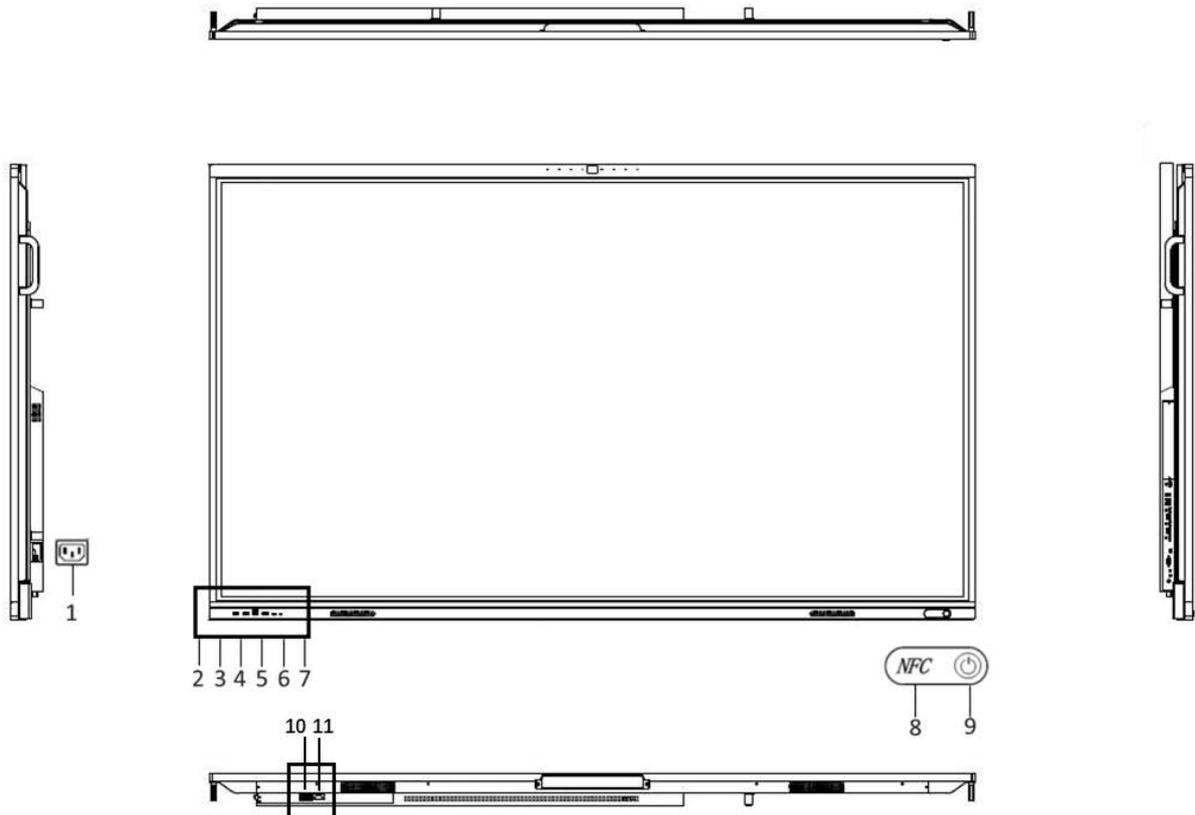


Figure 3-1 フロントパネルとインターフェイス

Table 3-1 パネル説明

いや。	説明	いや。	説明
1	電源インターフェース 100~240 VAC	2/3	USB 3.0
4	タッチ USB インターフェイスは、ドライバプログラムなしで外部ラップトップとの接続をサポートします。	5	HDMI IN
6	Type-C インターフェースは DP、USB 2.0、充電機能をサポートする。	7	環境光センサー
8	エヌエフシー オペレーションは以下を参照のこと。 7.4.1 NFC スクリーンミラーリング 。	9	電源ボタン ● 短く押すと省電力状態になります。 ● 長押しで電源オン / オフ。
10	ランポート×2	11	シリアルポート

3.2.2 メインボード上のインターフェイス

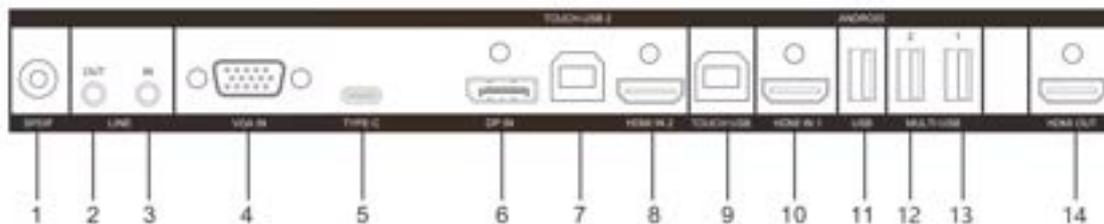


Figure 3-2 メインボードのインターフェイス

Table 3-2 メインボード

いや。	名称	説明	いや。	名称	説明
1	SPDIF	デジタル音声の送信	2	ラインアウト	オーディオ出力インターフェイス
3	ライン IN	オーディオ入力インターフェイス	4	VGA IN	ビデオ機器接続インターフェイス
5	TYPE-C	Type-C インターフェイス	6	DP IN	ディスプレイ入力インターフェイス
7	タッチ USB 2	周辺タッチ・インターフェイス	8	HDMI IN 2	HDMI 2 入力インターフェイス
9	タッチ USB	周辺タッチ・インターフェイス	10	HDMI IN 1	HDMI 1 入力インターフェイス
11	USB	USB インターフェイス	12	マルチ USB 2	多機能 USB インターフェイス
13	マルチ USB 1	多機能 USB インターフェイス	14	HDMI OUT	HDMI 出力インターフェイス

3.2.3 パーソナルコンピューター（PC）への接続

PCとデバイスの接続は以下のようになります。



Caution

本装置を設置または分解する前に、必ず電源を切断してください。

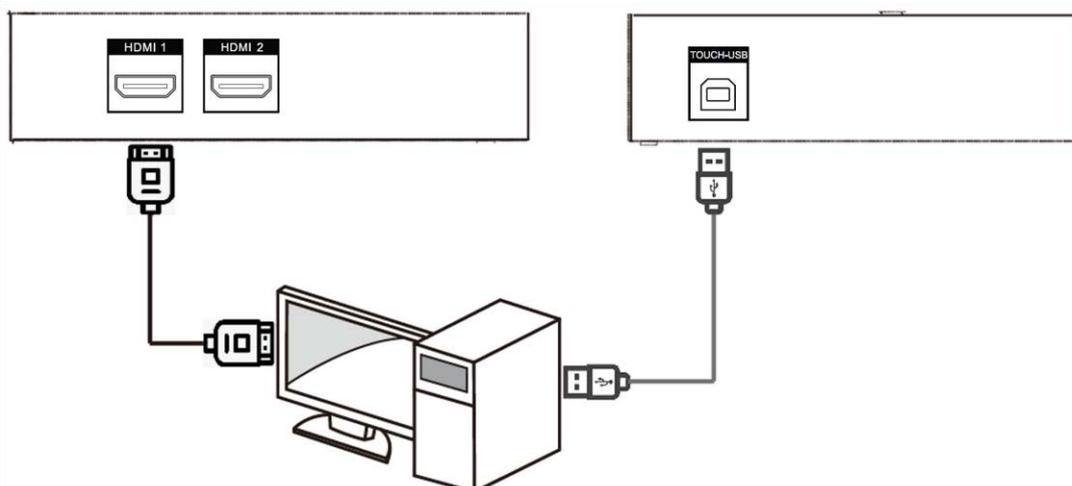


Figure 3-3 PC に接続

Note

- Touch-USB インターフェースは、ユーザーがデバイス上で外部 PC をタッチ操作する必要がある場合にのみ必要となる。
- HDMI 信号の伝送品質を高めるため、長さ 10m 以下の高品質の信号ケーブルを使用してください。
- USB ケーブルは製品に付属しておりません。Type-A コネクタ-Type-B コネクタの USB ケーブルをお買い求めください。

3.3 内部コンピューター設置

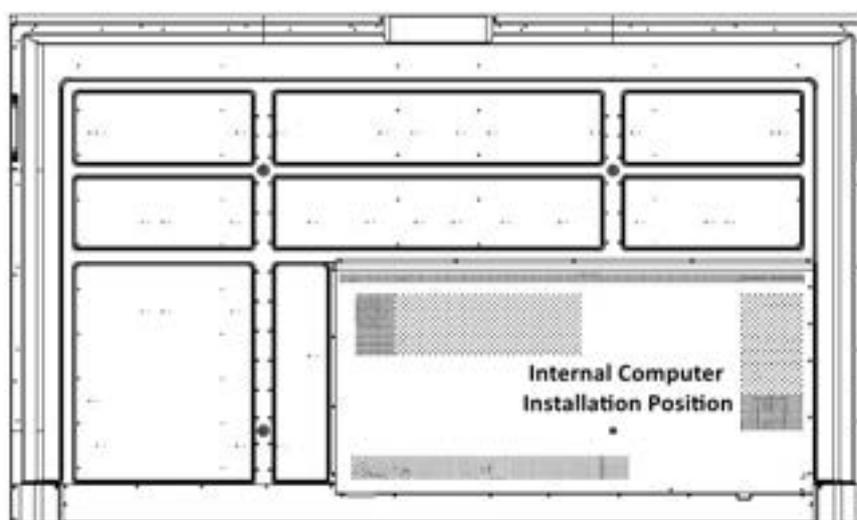


Figure 3-4 内部コンピューター設置

コンピュータボックスは本機のサイドスロットに取り付けます。ボックスを取り付ける際は、上図のように通気孔が背面パネルと同じ方向を向いていることを確認してください。ネジでボックスを固定します。



- コンピューターはオプションのアクセサリです。
 - デバイスの損傷を避けるため、コンピュータボックスはデバイスの電源が切れてから取り外してください。
-

3.4 取り付け

本機は、下図のように、ウォールマウントまたはモバイルマウントで設置することができます。



壁掛け用と移動設置用のアクセサリは異なります。混同しないでください。

壁掛け

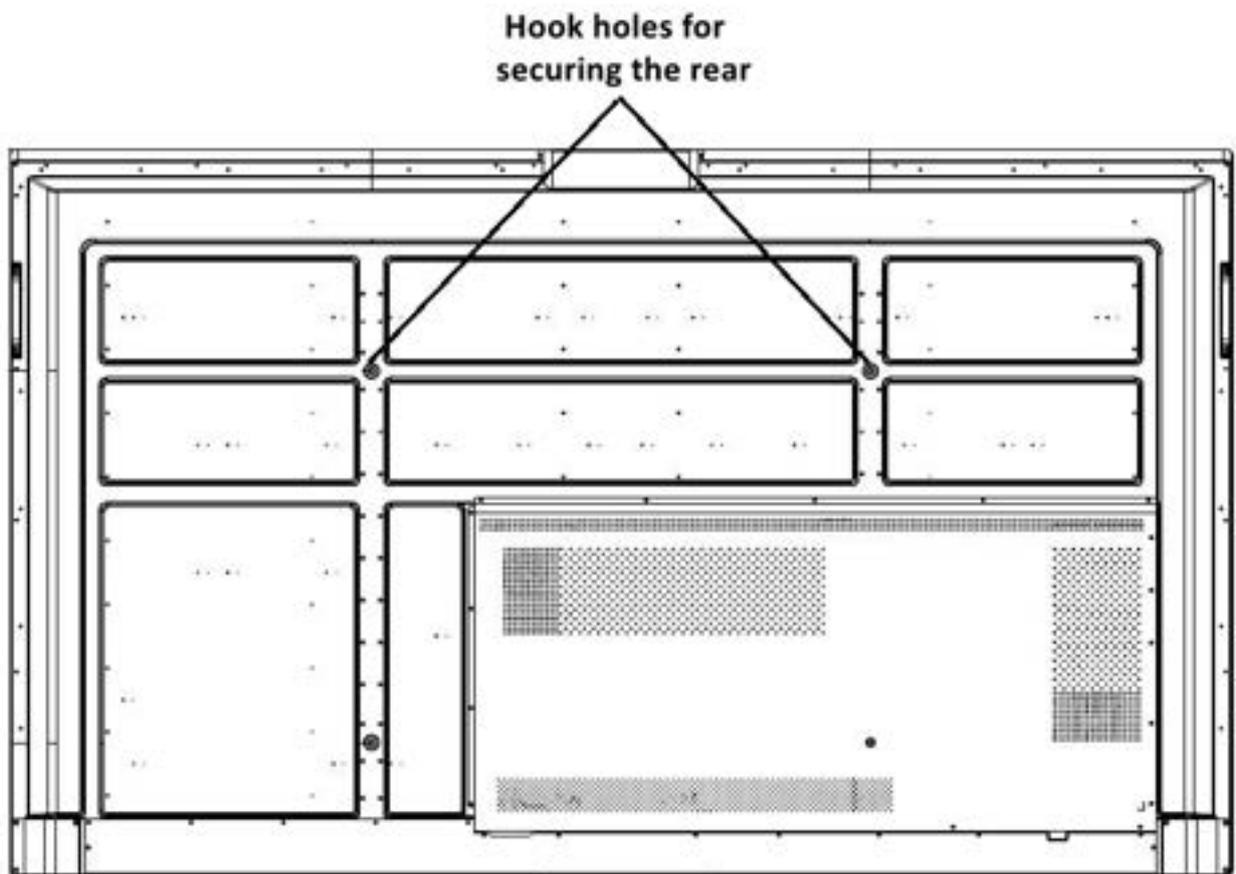


Figure 3-5 壁掛け背面図

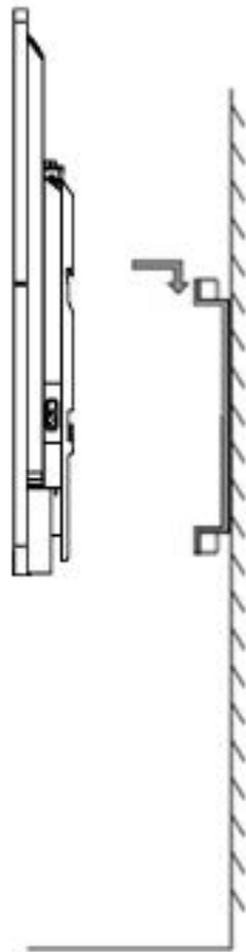


Figure 3-6 壁掛け側面図

 **Note**

壁掛けは水平方向に可動します。メンテナンスのため、左右に 6cm 以上（または片側 12cm 以上）、上下に 5mm 以上のスペースを空けてください。

モバイルマウント

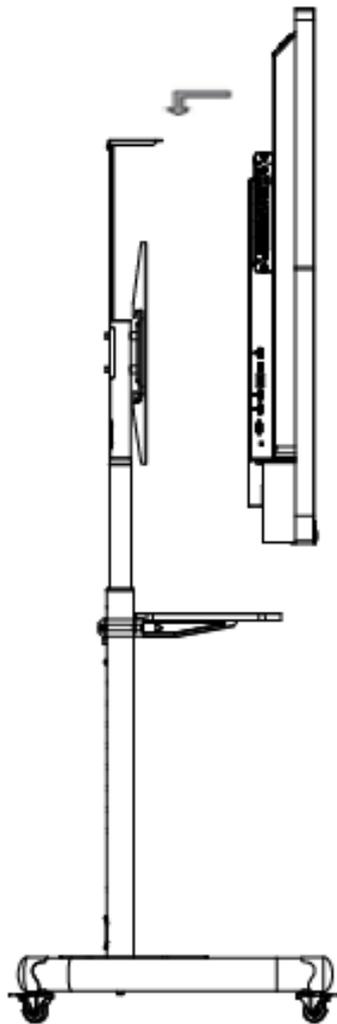


Figure 3-7 モバイルマウント

Chapter 4 スタートアップとシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 コンピュータボックスなしで設置

Step 1 デバイスを電源に接続する。

Step 2 電源スイッチをオンにすると、フロントパネルの電源インジケータが赤く点灯します。

Step 3 フロント・パネルの電源ボタンを押してデバイスを起動すると、インジケータが青色に点灯します。

4.1.2 コンピューターボックスと一緒に設置

デバイスが電源から切断されているときにボックスを取り付け、取り付けが完了したら電源スイッチをオンにします。起動中、ボックスの電源インジケータが赤く点灯し、ファンが起動します。ピープ音が鳴った後、電源インジケータが緑色に変わり、コンピュータの電源がオンになります。一方、フロントパネルの電源インジケータは青色に変わり、デバイスの電源がオンになったことを意味します。

4.2 エコ・モード

エコモードへの移行

フロントパネルの電源ボタンを押して画面をオフにし、エコモードに入ります。

デバイスの起動

デバイスをウェイクアップする4つの方法:

- フロントパネルの電源ボタンを押す。
- リモコンの電源オフボタンを押す。
- 画面のどこかを2回タッチする。
- シャオハイ、シャオハイ」と言って画面を起こす。

4.3 シャットダウン

- デバイスがコンピュータボックスと一緒にインストールされていない場合、またはコンピュータボックスがシャットダウンされている場合、デバイスをシャットダウンするために直接電源を切ります。
- デバイスが電源が入っているコンピュータボックスにインストールされている場合は、「スタート」をタップして「シャットダウン」を選択するか、コンピュータボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（電源ボタンを長押しすると強制的にシャットダウンされます）。その後、電源を切ってデバイスをシャットダウンします。



デバイスの電源を直接オフにすると、コンピュータ・ボックスが強制シャットダウンされます。次にデバイスを起動すると、Windows がエラーリカバリーモードに入り、画面タッチが無効になることがあります。この場合、マウスとキーボードをデバイスに接続する必要があります。

- リモコンの電源オフボタンを長押し

Chapter 5 メニュー操作

Note

ソフトウェアのインターフェースと機能は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。このマニュアルの写真はすべて説明のためのものです。

デバイスの電源を入れ、メインページに移動します。画面下部にショートカットメニューが表示されます。



Figure 5-1 メインページ

Note

メインページのアプリケーションのアイコンを長押しすると、以下の操作が可能です：

- アプリケーションの画面移動
- ウィンドウ形式でアプリケーションを開く。
- アプリケーションを他のアプリケーションと一緒にフォルダにマージします。

5.1 基本操作

ショートカットアイコンの機能は以下の通りです。

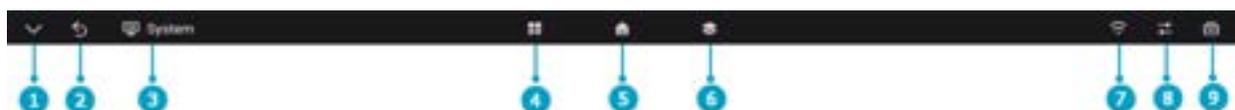


Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカットの説明

いや。	機能	いや。	機能
1	タップすると下部のメニューバーが非表示になります。	6	プロセスのすべてのアプリをチェックまたはクリアするには、タップします。
2	タップすると前のページに戻ります。	7	をタップして、ネットワークパラメータとホットスポットを設定します。
3	タップして入力ソースを選択します。	8	タップして明るさと音量を設定します。
4	すべてのアプリケーションをチェックするにはタップします。 長押しすると、選択したアプリケーションを分割画面またはウィンドウモードで表示します。	9	をタップしてコントロールメニューを開きます。
5	をタップしてメインページに戻る。		

 **Note**

角度のついた線が無効の場合は 20 本まで、有効の場合は 1 本まで。ボトムバーメニューを非表示にした後、 から呼び出すことができます。



Figure 5-3 コールアウト・ボトムバー

5.2 システムバー

システムバーのエリアを長押しすると、システムバーのアプリのレイアウトを変更できます。



Figure 5-4 システムバーのレイアウト

カスタマイズをクリックし、アイコンを動かして位置を調整する。

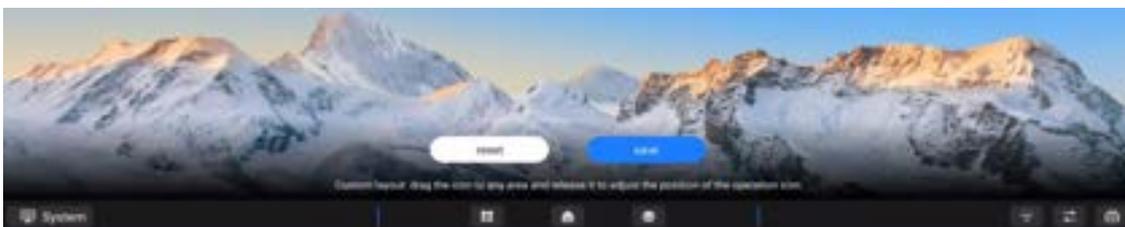


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズする

5.3 入力ソース

下部の入力ソースのアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。**System**、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**Type-C**、**DP**、**VGA** が利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、**WLAN** ホットスポットの詳細パラメータを設定します。詳細は「[ネットワーク設定](#)」を参照してください。

5.5 コントロール・メニュー

下部の  をタップしてコントロールメニューを表示し、必要に応じて以下の操作を設定します。



Figure 5-6 コントロール・メニュー

Table 5-2 コントロール・メニューの説明

工具	説明
注	現在のページの注釈を取る。
カメラ	デバイスにバインドされているカメラを開く。
スクリーンショット	現在のページをキャプチャする。
電卓	内蔵電卓を有効にする。
ストップウォッチ	時間を計る。
カウントダウン	ゼロまで秒を逆算する。
投票機	投票設定を投票に設定する。
記録画面	画面をビデオとして録画する。
ロック画面	タップするとタッチロックが有効になり、ロックされたページではタッチ操作ができなくなります。ロックをタップして終了すると、タッチ機能が元に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送する。
バーチャル・リモート・コントローラー	バーチャルコントローラーを有効にします。ホバリング表示リモコンメニューは、上、下、左、右、確認、戻る、ホームボタンをサポートし、ホバリングバーチャルリモコンの位置を移動することができます。
スクリーンフローズン	現在のページをフリーズする。
スポットライト	タップすると絞りが有効になります。明るさとサイズを調整できます。
拡大鏡	拡大鏡をタップします。次にスクリーンをタッチすると拡大円が表示され、移動して詳細を見ることができます。円の大きさは調整できます。
メトロノーム	タップするとメトロノームが表示されます。スタートボタンをタップすると、ビートが鳴ります。音符と拍子は調整できます。

5.5.1 注

 → **Note** でメモを取る。画面上をタッチしたり移動したりすることで、ページ上のどこにでもメモを追加できます。



Figure 5-7 メモを取る

Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	タップしてペンの色とサイズを調節して書く。 角度のあるストロークを有効にするかどうか。ストロークの角度をつけたい場合は を、ストロークの角度をつけない場合は をタップしてください。
	タップしてメモを消去します。
	タップしてすべてのメモを消去します。
	タップして現在のページを保存します。 インターネットや LAN に接続すると、メモの QR コードを生成。インターネットに接続できる端末や、インタラクティブフラットパネルと同じ LAN 内にある端末は、QR コードを読み取ってメモをダウンロードすることができます。
	タップしてメモを終了します。
	タップしてノートツールバーを折りたたんだり広げたりします。

Note

角度のついた線が無効の場合は 20 本まで、有効の場合は 1 本まで。

5.5.2 スクリーンショット

 → スクリーンショットと進むと、現在のページにキャプチャ領域がポップアップ表示されます。四隅をタップ&ドラッグして領域を調整します。領域の右下隅にスクリーンショットツールバーがポップアップ表示されます。

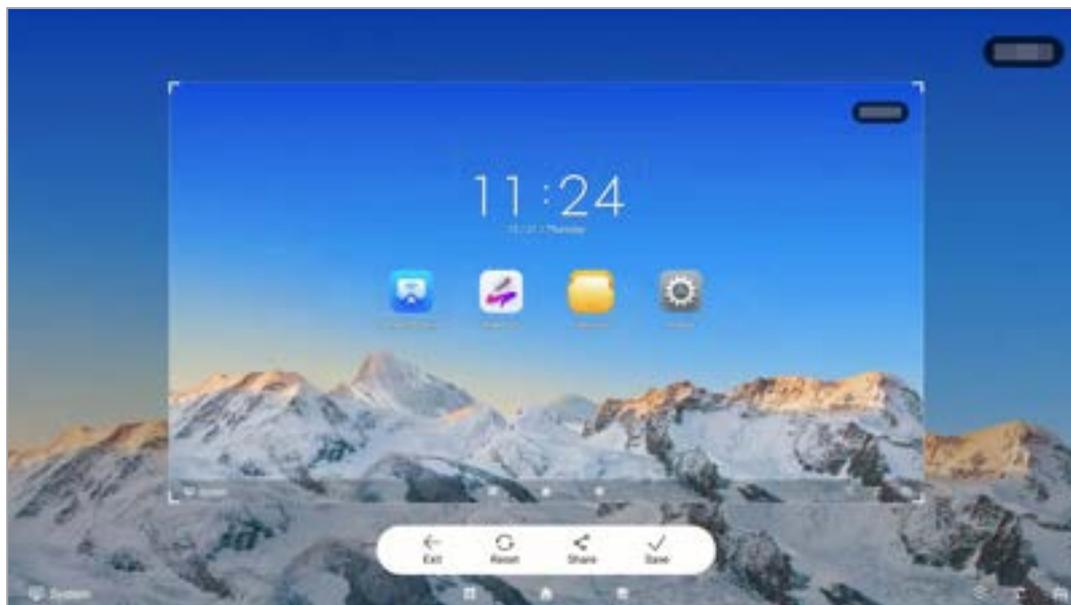


Figure 5-8 スクリーンショット

Table 5-4 スクリーンショット ツールバーの説明

アイコン	説明
←	スクリーンショット。
🔄	ページ全体をキャプチャする。
🔗	スクリーンショットから QR コードを生成し、インターネットに接続できる端末や、インタラクティブ・フラット・パネルと同じ LAN 内にある端末は、QR コードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードすることができます。
✓	キャプチャエリアにスクリーンショットを保存します。

5.5.3 投票マシン

タブレットがパブリックネットワークに接続されたら、コントロールメニューの「投票」をクリックします。クイック投票または設定されたオプションに従って投票を選択できます。

始める前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

簡易投票

Step 1 **クイック]**をクリックして、投票オプションの数を選択します。

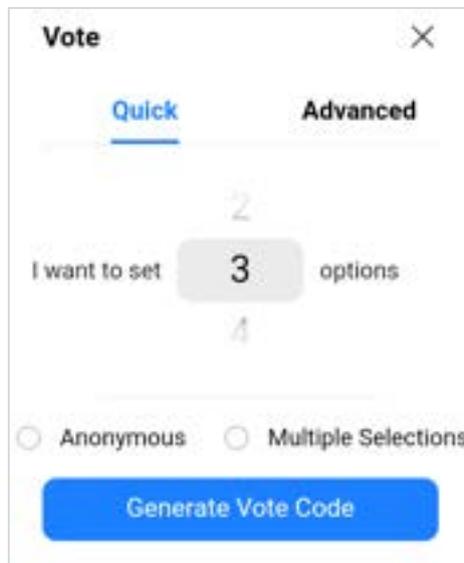


Figure 5-9 簡易投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定する。

- 匿名さん無記名で投票
- 複数選択: 投票時に複数の選択肢を選択する。

Step 3 **投票コードを生成する]**をクリックし、携帯電話でコードをスキャンして投票する。

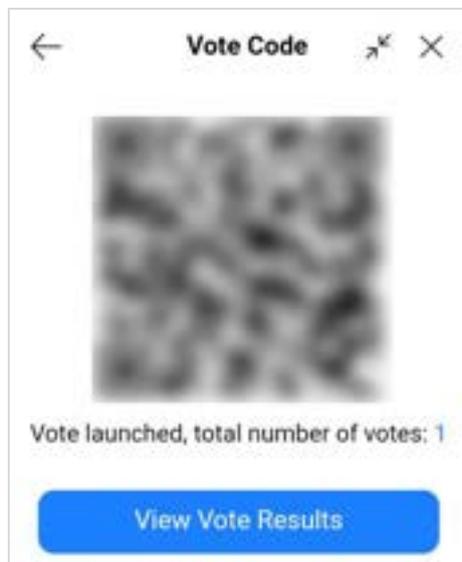


Figure 5-10 携帯電話による投票

Step 4 **投票結果を見る]**をクリックして投票を終了し、詳細を確認する。

Step 5 オプション：携帯電話で投票結果をダウンロードするには、[スキャンしてダウンロード]をクリックします。

上級投票

Step 1 **詳細設定**をクリックすると、インターネットに接続された携帯電話、またはインタラクティブフラットパネルと同じ LAN 内にある携帯電話で QR コードを読み取って投票を設定することができます。



Figure 5-11 上級投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定する。

- 投票テーマ/投票オプション：カスタム設定。
- 匿名さん無記名で投票
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択する。

Step 3 **Launch Vote** をクリックすると、携帯電話でコードをスキャンして投票することができます。

Step 4 **投票結果を見る** をクリックして投票を終了し、詳細を確認する。

Step 5 オプション：携帯電話で投票結果をダウンロードするには、[スキャンしてダウンロード]をクリックします。

5.6 カメラ機能

5.6.1 カメラ

カメラ]をクリックして写真やビデオを撮影します。

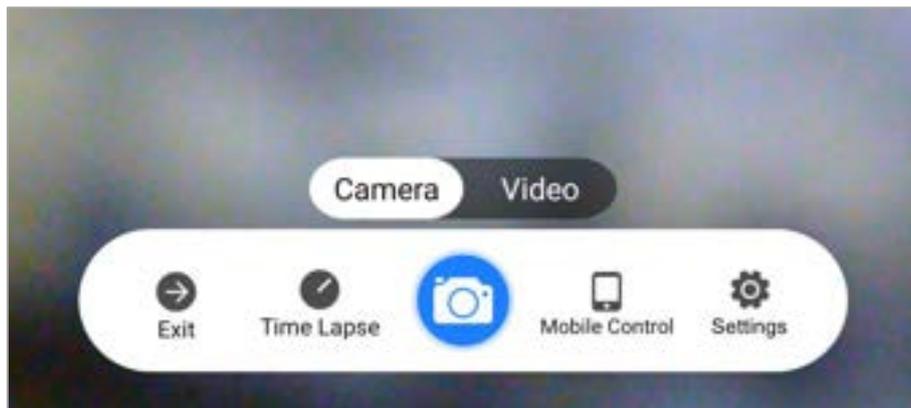


Figure 5-12 カメラ

Table 5-5 スクリーンショット ツールバーの説明

アイコン	説明
	出口カメラ。
	選択したディレイタイムに従って撮影を遅らせる。
	写真を撮る。写真はホワイトボードに取り込むことも、携帯電話に保存することもできます。
	携帯電話とデバイスを同じ LAN に接続した後、コードをスキャンすることでカメラを制御して写真を撮ることができる。

5.6.2 ビデオ

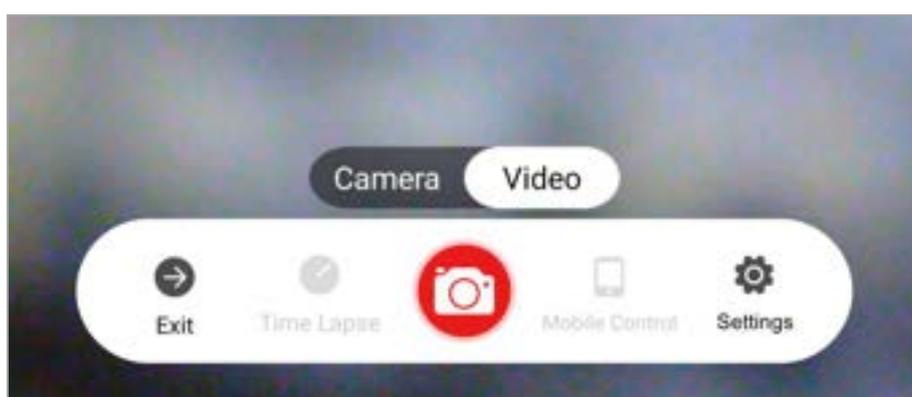


Figure 5-13 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショット ツールバーの説明

アイコン	説明
	退場ビデオ。
	録音を開始する。

5.6.3 設定

Settings をクリックして、以下のパラメータを設定する。

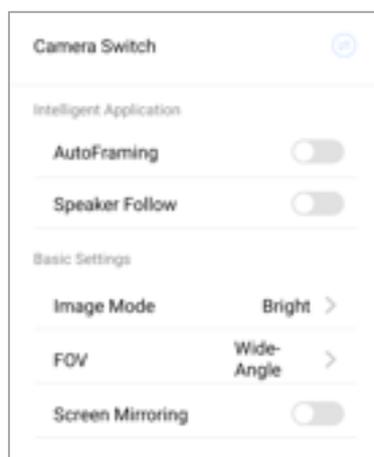


Figure 5-14 セットカメラ

カメラスイッチ:

システムカメラと外部カメラの間でカメラを切り替えるには、 をクリックします。

外部カメラに切り替える場合は、システムバーの  をタップし、**カメラ設定**を調整します。

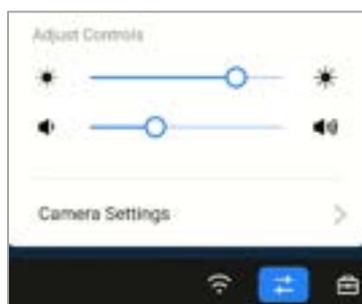


Figure 5-15 外部カメラ設定

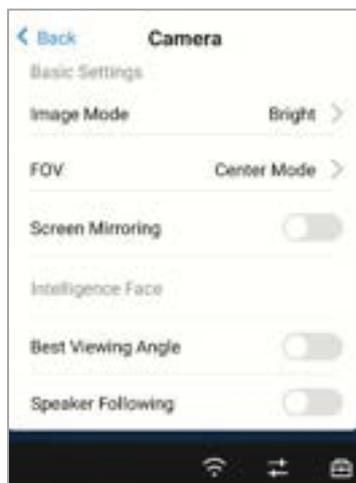


Figure 5-16 外部カメラ設定オプション

インテリジェントなアプリケーション:

- **オートフレーミング:** この機能を有効にすると、カメラは自動的に調整し、検出された顔を画面の中央に表示します。感度は、低、中、高の3つのオプションから選択できます。



Figure 5-17 オートフレーミングの感度オプション

- **スピーカー・フォロー:** この機能を有効にすると、カメラは検出されたスピーカーに自動的に追従し、スクリーンの中央にスピーカーを表示します。感度は、低、中、高の3つのオプションから選択できます。

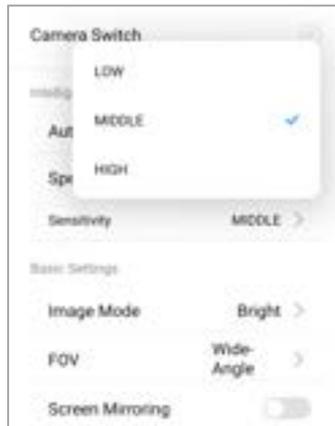


Figure 5-18 スピーカー・フォロー感度オプション

基本設定

- **画像モード**: クリックすると、**Natural**、**Bright**、**Backlight** などの画像モードが選択できます。
- **FOV**: クリックすると、**広角モード**または**中央モード**が選択されます。
- **スクリーンミラーリング**: この機能を有効にすると、カメラは画像を反転します。

Chapter 6 システム設定

デバイスの電源をオンにすると、画面にメインページが表示されます。画面を左右にスライドさせると、アプリケーション、デバイスのステータス、ヘルプドキュメントが表示されます。

6.1 ネットワーク設定

ネットワークの状態は画面の下に表示されます。

Table 6-1 異なるネットワーク・ステータス

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続。
	ワイヤレスネットワークに接続。
	ネットワークが接続されていない。

6.1.1 有線ネットワーク設定

Step 1 設定] → [ネットワーク] → [有線ネットワーク] を開きます。

Step 2 有線ネットワークを有効にする。

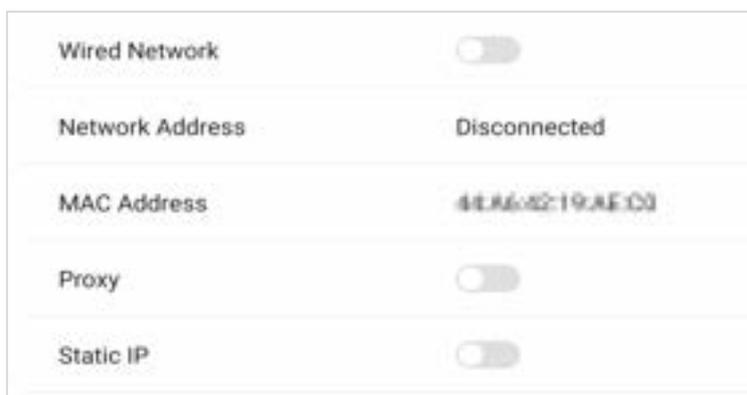


Figure 6-1 有線ネットワーク設定

Step 3 オプション: プロキシまたは静的 IP を有効にするには、タップします。

プロキシ設定

プロキシを有効にする場合は、プロキシホストとポート番号を設定し、プロキシを使用しない URL を設定する必要があります。

Proxy	<input checked="" type="checkbox"/>
Port	192.168.1.100
Port No.	1080
The following address do not use	

Figure 6-2 プロキシ設定

静的 IP 設定

スタティック IP が有効な場合、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS1、DNS2 などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	<input checked="" type="checkbox"/>
IP Address	
Gateway	
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3 静的 IP 設定

6.1.2 ワイヤレスネットワーク設定

Step 1 設定 → ネットワーク → ワイヤレスネットワーク

Step 2 WLAN を有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークへの接続

- 利用可能なネットワークリストで希望のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- **接続**をタップすると、ネットワーク情報ページがポップアップ表示されます。ネットワークを消去」をタップすると、選択したネットワークの情報が消去されます。キャンセル」をタップしてページを閉じます。

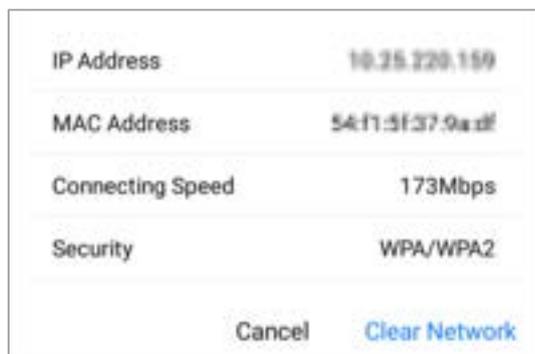


Figure 6-4 ワイヤレス・ネットワーク情報

他のネットワークを追加する

Step 1 他のネットワークの追加をタップします。

Step 2 Wi-Fi 名を入力し、セキュリティを選択します。



Figure 6-5 他のネットワークを追加する

Step 3 オプション: プロキシとネットワーク IP タイプを選択するには、**[詳細設定を表示]**をオンにします。

Step 4 **接続**」をタップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN ホットスポット設定

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、WLAN ホットスポットが有効になっている他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供することができます。

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポット。

Step 2 ポータブル無線 LAN ホットスポットを有効にします。

ホットスポットの**隔離**: ホットスポット分離を有効にすると、デバイスが LAN に接続されていても、LAN 内のウェブサイトなどのリソースにアクセスできなくなる。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定する。



Figure 6-6 ホットスポット設定

Note

デバイスが 2.4GHz と 5GHz の両方をサポートしている場合は、ワイヤレススクリーンミラーリングなどの機能をより快適に使用するために、5GHz を **AP 周波数** に設定し、推奨チャンネルを **AP チャンネル** に設定します。

6.2 ディスプレイ設定

設定」 → 「ディスプレイ」で、明るさやスリープ時間などのパラメーターを調整します。



Figure 6-7 ディスプレイ設定

オートブライトネス

有効にすると、デバイスは自動的に環境に応じて明るさを調整することができます。

輝度パラメーター

スライダーをスライドさせて画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

ブルーライトをフィルターして目を保護する機能を有効にする。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。**設定**をタップして希望のテーマを選択し、**[適用]**をタップします。

壁紙

壁紙をタップして、壁紙ライブラリまたはシステム画像ライブラリから好きな画像を壁紙として選択するか、デフォルトの壁紙に戻します。

睡眠

スリープモードの休止時間を設定する。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にするための非アクティブ時間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

タップしてポップアップページでスクリーンセーバー画像を選択し、**ライブビュー**をタップして効果をプレビューします。**適用**をタップして、選択した画像をスクリーンセーバーに設定します。スクリーンセーバーはカスタマイズすることもできます。

Note

+ をタップして、スクリーンセーバー設定で新しいスクリーンセーバー画像を追加できます。

6.3 オーディオ設定

Step 1 設定 → **オーディオ** でオーディオパラメーターを設定します。

Step 2 ボリュームの値を調整する。

Step 3 (オプション) **サウンドコレクトエリア**: 集音エリアの範囲は設定によりリアルタイムに変化します。

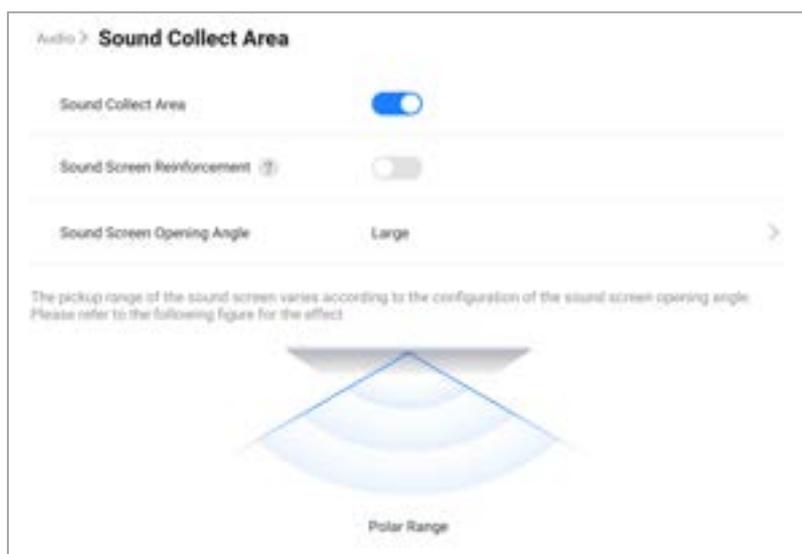


Figure 6-8 サウンド コレクトエリア

6.4 言語と入力設定

Step 1 設定 → **言語と入力**.

Step 2 **言語**をタップして希望の言語を選択します。

Step 3 **入力方法**をタップして希望の入力方法を選択します。



Figure 6-9 言語と入力設定

6.5 時刻と日付の設定

Step 1 設定 → 日付と時刻。

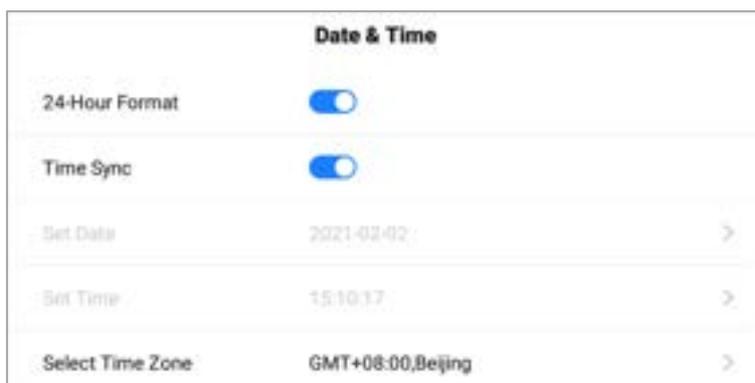


Figure 6-10 日付と時刻の設定

Step 2 時間同期を有効にする。

Step 3 「タイムゾーンを選択」をタップして地域を選択します。

Step 4 オプション: **24 時間形式**で時刻を表示するには、**24 時間形式**を有効にします。



Note

時刻同期が無効になっている場合は、手動で日付と時刻を設定できます。

6.6 アプリケーション管理

Step 1 設定 → アプリケーション管理.

Step 2 詳細を確認するには、目的のアプリケーションをタップします。

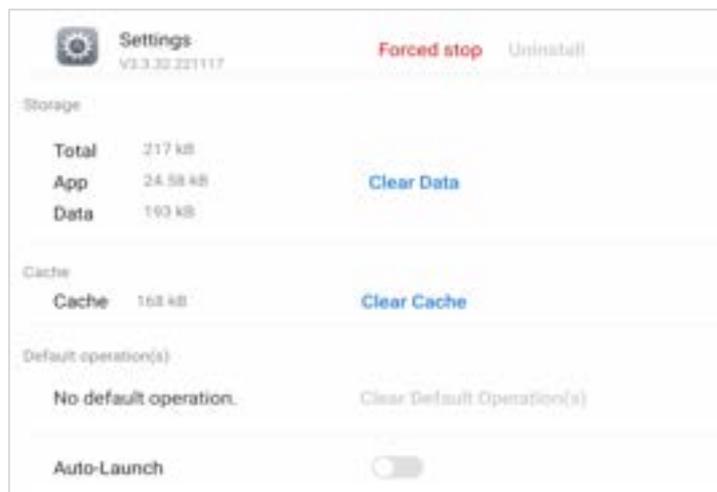


Figure 6-11 アプリケーション詳細

Note

- 内蔵アプリケーションはアンインストールできません。アプリケーションの詳細でアイコンをタップすると、アプリケーションを開くことができます。
- サードパーティ製アプリケーションのインストール後、4Kディスプレイを有効にすることができます（機器の再起動後に有効）。

Step 3 自動起動を有効にする。デバイスの電源がオンになると、選択したアプリケーションが自動的に起動します。

6.7 ブルートゥース

Bluetooth でリモコン、オーディオ、キーボードなどを接続でき、ファイル転送も可能。

Bluetooth を有効にして近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップします。

6.8 補助機能

6.8.1 インテリジェント温度制御

本装置は内部温度をリアルタイムで監視します。温度が設定された警告またはアラーム限界温度を超えると、デバイスはタイムリーに対策を講じるためのプロンプトメッセージを表示します。

Step 1 設定」 → 「補助機能」 → 「温度調節」と進む。

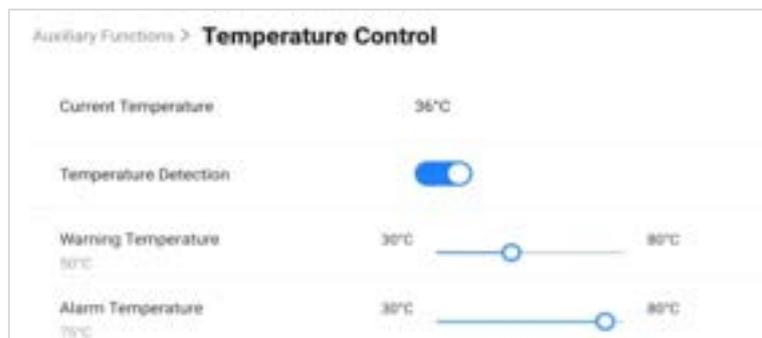


Figure 6-12 インテリジェント温度制御

Step 2 温度検出を有効にする。

Step 3 スライドして警告温度とアラーム温度を設定します。



温度が設定されたアラーム限界温度を超えたら、ポップアップメッセージで示されるようにデバイスの電源を切ります。

6.8.2 スマート・リモコン

リモコン（オプション）で操作できます。

設定 → 補助機能 → スマートリモコン で、リモコン設定ページに入ります。

6.9 詳細設定

設定 → 詳細設定 を選択します。以下のようにパラメータを設定できます。

Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	System microphone	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-13 詳細設定

電子メール

ホワイトボードの共有コンテンツを受信するためのメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● スタートアップ入力ソース

デバイスの起動時に希望の入力ソースを選択します。内蔵システム、または外部入力ソースを選択できます。デフォルトの起動入力ソースは **Android** です。入力ソース名のカスタマイズに対応しています。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースが接続されたときに、新たに接続された入力ソースに切り替わります。

● 信号源から切り離されると自動的に切り替わる

この機能が有効な場合、デバイスが外部入力ソースから切り離されると、システムは設定された入力ソースに切り替わります。

カメラ選択

デバイスにバインドされている外部カメラの中から選択します。

入力装置

外部 USB 入力オーディオデバイスをサポートし、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択することができます。

出力装置

外部 USB 出力オーディオデバイスをサポートし、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択することができます。

スタートアップ/シャットダウン設定

- **スタートアップ・モード**

スタートアップまたはスタンバイを選択します。

- **スケジュールされたスタートアップ/シャットダウン**

スタートアップとシャットダウンのスケジュールを設定する。

- **無信号シャットダウン**

信号が届かない場合の自動シャットダウンの時間を設定する。

デバイス許可設定

- **Wi-Fi を無効にする**

Wi-Fi が無効になっている場合、デバイスはワイヤレスネットワークに接続できません。

- **コピー許可オフ**

USB ディスクからのコピーが無効の場合、外部ディスクからの読み込みはできません。

QR コード共有設定

インタラクティブ フラットパネル で、インターネットにアクセスできる他の端末機器や同じ LAN 内で QR コードをスキャンし、ホワイトボードのコンテンツを共有します。

ウェイクアップ設定

- **シリアルポートからのウェイク**

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアル・ポート・コマンドで起動することができます。

- **信号源からのウェイク**

HDMI 信号ウェイクアップはデフォルトで有効になっています。デバイスの電源がオフの場合、HDMI 入力から電源をオンにすることができます。

Note

この機能が無効の場合、スタンバイ状態のデバイスは、電源スイッチまたはリモコンの電源スイッチで起動させることができ、シリアルポートや HDMI から電源を入れることはできません。

EDID バージョン

EDID のバージョン選択に対応。

HDMI 出力設定

HDMI インターフェイスを介してデバイスを接続し、コンテンツを共有します。希望の解像度を設定し、オーディオと HDCP を有効にすることができます。

Note

HDCP 機能を有効にするには、フラットパネルに接続されているディスプレイが HDCP 機能に対応している必要があります。

6.10 ユーザー設定

共有のインタラクティブ・フラット・パネルで異なるアカウントを持つことをサポートし、複数の人が同じデバイスを使用できるようにする一方、各アカウントに独自のサインイン情報を与え、さらに各自のファイル、ブラウザのお気に入り、設定にアクセスできるようにする。

設定」→「ユーザー設定」と進み、「マルチユーザー設定」を有効にすると、デバイスのアカウントを管理できます。

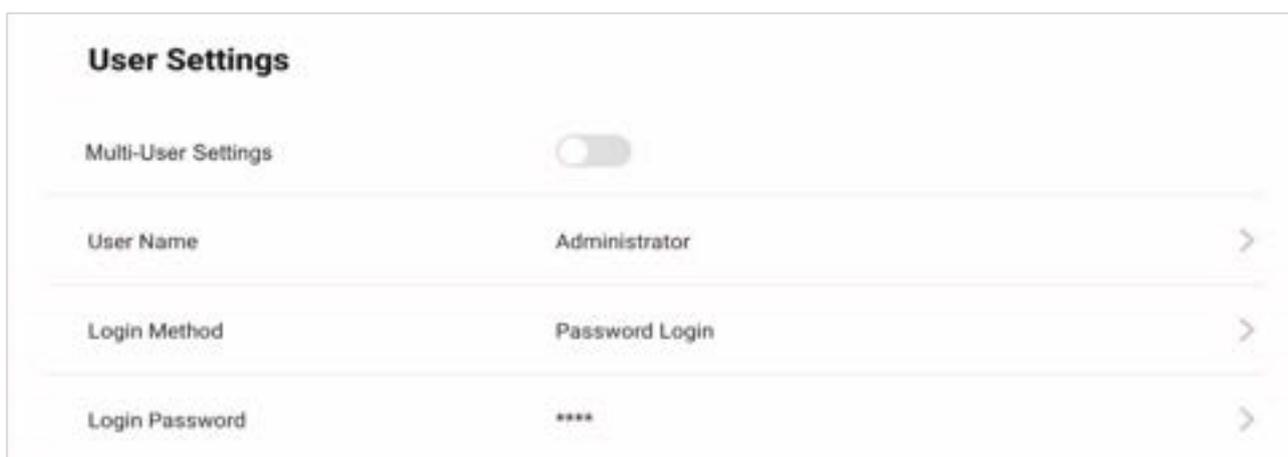


Figure 6-14 ユーザー設定

Table 6-2 アイコンの説明

アイコン	説明
	アカウントを追加する。 アカウント名を 64 文字以内に設定してください。 パスワードを 4~6 桁で設定する。
	アカウントを切り替える。対応するアカウントのパスワードを入力してログインします。
	アカウント情報を編集する
	アカウントのパスワードを編集します。
	アカウントを削除します。このアカウントのデータはデバイスからも削除されます。

 **Note**

- 一般ユーザーがパスワードを忘れた場合は、管理者に連絡してください。
- 管理者がパスワードを忘れた場合は、USB フラッシュディスクでロックを解除してください。
- 管理者ログインは、パスワードによるログインか否かの設定に対応しています。

6.11 デバイス情報

設定]→[バージョン情報]でデバイス情報を確認します。デバイス名はカスタマイズ可能で、デフォルト設定に戻すこともできます。

 **Caution**

設定をデフォルトの状態に戻すと、すべてのデータが失われます。

6.12 ネガティブ・スクリーン

画面左側から右側へスライドさせると、ネガティブ画面が表示され、デバイスの状態やシステムヘルプを見ることができます。

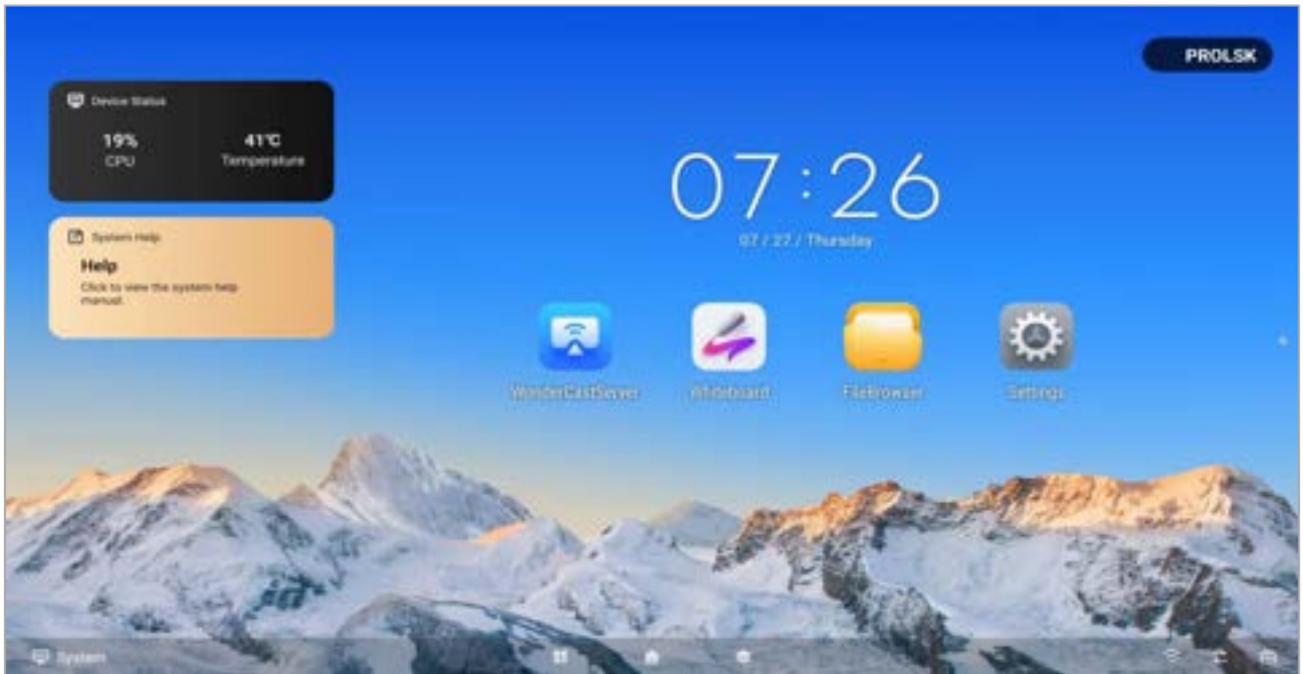


Figure 6-15 ネガティブ・スクリーン

Chapter 7 インテリジェント・アプリケーション ョン

7.1 ファイルブラウザ

メインページで **FileBrowser** をタップします。デフォルトでは、カレントディレクトリ以下のすべてのファイルが表示されます。指定したファイルを表示するには、**Image**、**Doc**、**AV**、または **Installation Package** をタップします。

アイコンの説明は以下の通り。

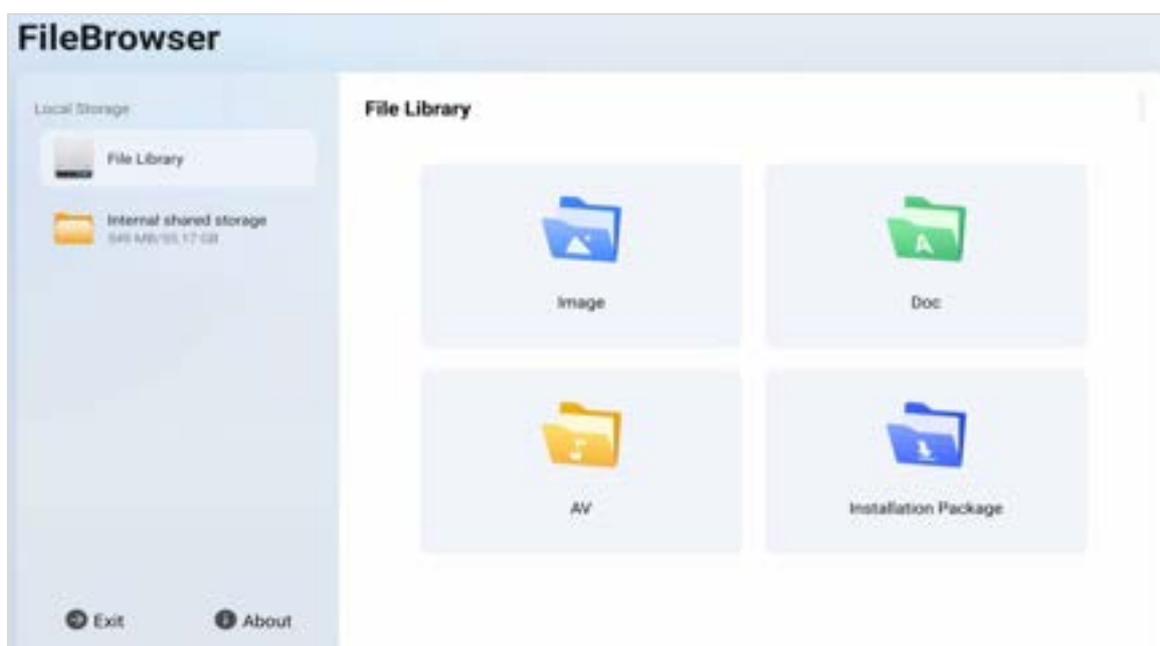


Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
バック/フォワード	前後のページへ	作成	新しいフォルダを作成する。
グリッド/リスト	グリッドまたはリストモードでファイルを表示します。	ソート	ファイルの順序を変更する。
編集	ファイルを編集する。	--	--

文書を編集するには、 をクリックします。その他の機能は以下の通り。

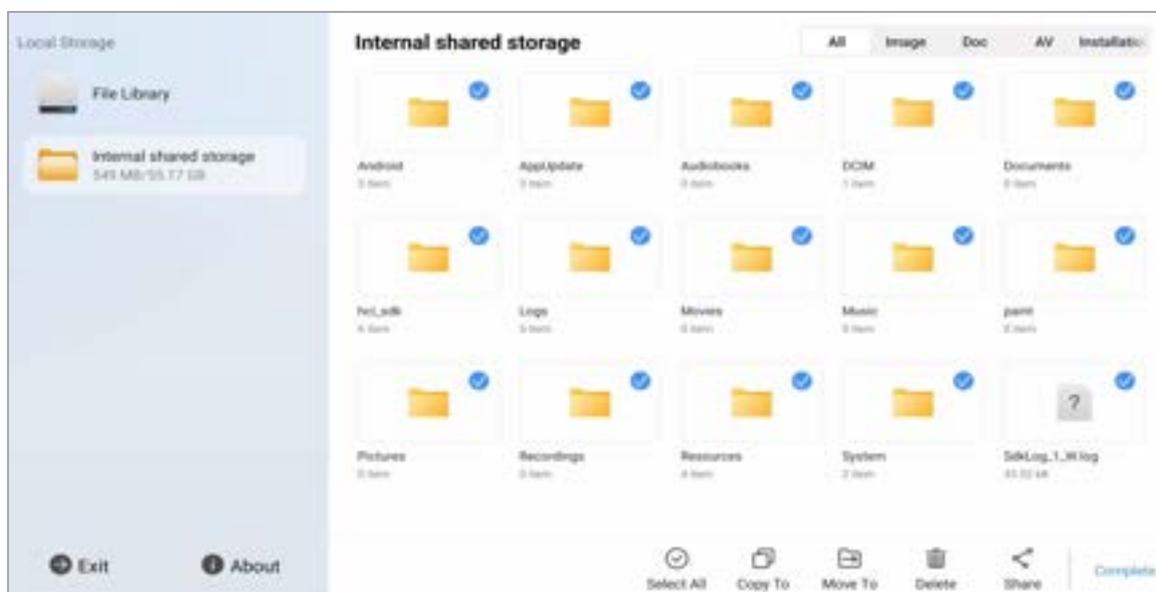


Figure 7-2 ファイルを編集する

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動先	選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
シェア	選択したファイルを共有する。		



ファイルを長押しして他の操作を行う。

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、「ブラウザ」をタップします。アドレスバーに URL を入力し、インターネット上のテキスト、写真、オーディオ、ビデオを表示します。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ書き込み、画像挿入、コンテンツ共有などの機能を統合した編集ソフトです。背景の異なるボードを追加して、タッチ書き込み、消去、ページ切り替えなどの操作が可能。画像の取り込みや編集にも対応しており、ホワイトボードのコンテンツが完成したら、ローカルに保存したり、メールで共有したりすることができる。

7.3.1 ツールバーの紹介

ツールバーを使って、ホワイトボードへの書き込み、消去、選択、復元/取り消しなどの操作を行うことができます。



Figure 7-3 ツールバー

書く

ライティング機能は、ホワイトボードへの書き込みに使用します。ツールバーの  をタップして、ブラシの種類、色、太さなどのパラメータを調整します。

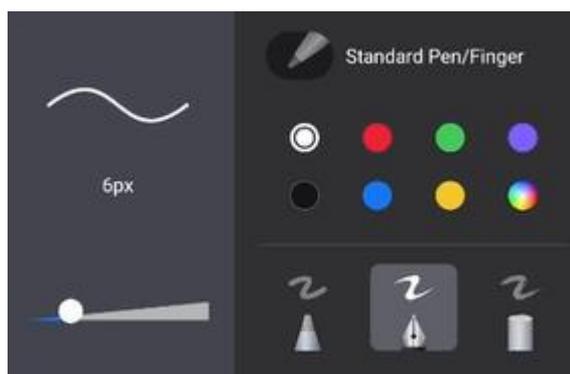


Figure 7-4 編集パラメータの設定

消去

消去機能は、ホワイトボードに書かれた内容を消去するために使用します。ツールバーのをタップして、以下のアクションを選択します：

- 部分消去: をタップし、消去したい領域上で消しゴムをクリックしてドラッグすると、その領域の内容が消去されます。スライダーをスライドさせて消しゴムのサイズを調整できます。
- Circle Erase: をタップして、削除したい領域を丸で囲む。丸で囲んだ部分にタッチした軌跡の内容が消去されます。
- すべて消去: をタップすると、現在のホワイトボードページのすべての書き込み内容が消去されます。
- ジェスチャー消去: 手のひら、手の甲、2本の指を画面に密着させると、大がかりな消去操作ができます。

サークル選択

ツールバーの をタップして、任意の形状の領域 () または長方形の領域 () を丸で囲み、その領域の内容を編集します。

- : 選択領域のコンテンツの色を均一に変更します。
- : 選択範囲内のコンテンツを削除します。
- : 選択した領域内のコンテンツをロックします。領域を長押しするか、 をタップしてロックを解除します。
- : 領域の内容をコピーします。

Note

- 選択領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転をサポート。
- 選択したエリアの外側をタップすると、エリア選択がキャンセルされます。

元に戻すまたはやり直す

誤って書き込んだり消したりした場合は、取り消しツールを使って操作を元に戻すことができます。

- : クリックすると直前の操作を取り消します；
- : クリックすると前の操作をやり直します。

その他のツール

ツールバーの をタップし、以下のツールを呼び出します：

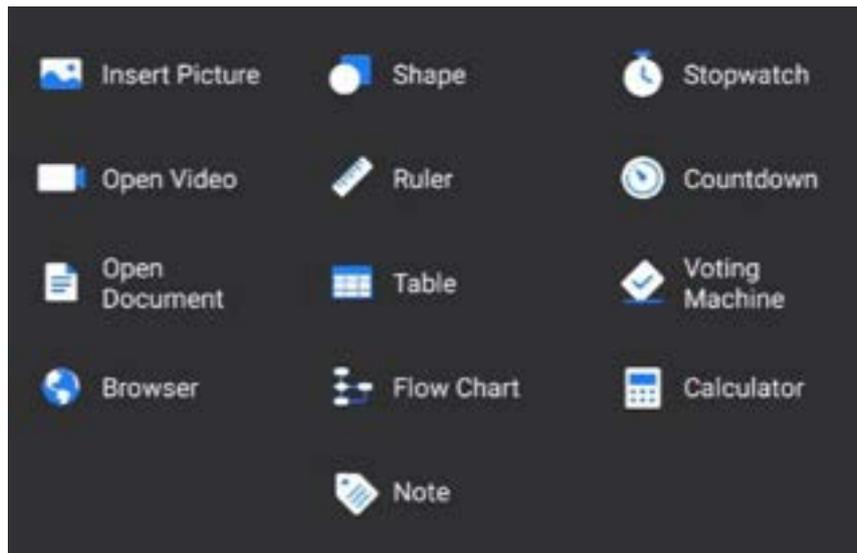


Figure 7-5 その他のツール

Table 7-3 ツール

アイコン	名称	説明
	形状	長方形、楕円、円、直線を挿入。
	ルーラー	定規、分度器、四角、コンパスを使う。ドラッグしてサイズや角度を調整します。
	テーブル	テーブルを挿入する。 表を長押しして行や列を追加 / 削除する； テーブルをドラッグして移動やサイズ変更を行う； 表をタップすると、表に書かれている内容の色を変更することができます。
	フローチャート	さまざまな図形や線を選択して、ホワイトボードにフローチャートを描くことができます。
	注	ノートの挿入。ノートの移動、サイズ変更、コピー、色の変更をサポート。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開く。
	カウントダウン	カウントダウンを開く。
	投票機	投票機を開ける。
	電卓	電卓を開く。
	写真の挿入	画像を挿入した後、ロック、サイズ変更、移動、回転、画像の削除、領域に書かれた内容の色の変更ができます。
	オープン・ビデオ	ビデオファイルを再生する。
	オープン・ドキュメント	PPT、PPTX、DOC、DOCX、PDF のドキュメントを開いて表示。
	ブラウザ	ホワイトボードの横にあるブラウザを呼び出す。

7.3.2 ホワイトボードの管理

新しいホワイトボードの作成、ホワイトボードの切り替え、ホワイトボードの削除ができます。

Table 7-4 機能説明

機能	説明
ホワイトボードの追加	右下の  をタップしてホワイトボードページを追加します。
スイッチ・ホワイトボード	 /  をタップして、ホワイトボードのページを切り替えます。
ドラッグ・ホワイトボード	一枚のホワイトボードは無限に大きく、5本の指でホワイトボードのページを上下左右にドラッグして書き込みスペースを広げることができる。
ホワイトボードを見る	 をタップすると、ホワイトボードのページのサムネイルが表示されます。サムネイルを上下にスワイプし、ページをタップすると、表示されているページにジャンプします。
ホワイトボードの削除	ページ番号エリアで  をタップし、ページの右下隅で  をタップすると、そのページが削除されます。

 Note

ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.3 ホワイトボードの保存

ホワイトボードのコンテンツが完成したら、そのページをデバイスにローカル保存して参照したり、他の人と共有したりすることができる。

Step 1 ホワイトボードの左下にある  をタップします。

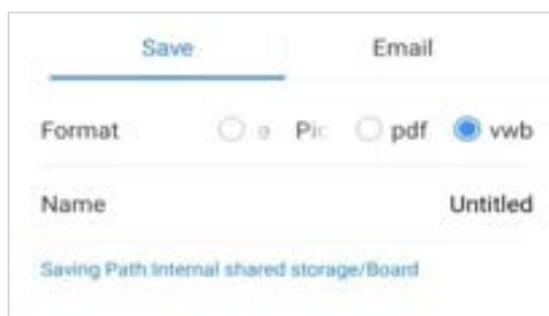


Figure 7-6 ホワイトボードの保存

Step 2 フォーマットを選択します。



基盤を PNG 形式の画像、PDF 形式の文書、または編集可能な VWB 形式のファイルとして保存することをサポートします。

Step 3 (オプション) ボードの名前を編集する。

Step 4 保存をタップします。

7.3.4 ホワイトボードを共有する

ユーザーは、電子メールや QR コードを介して他のユーザーとホワイトボードを共有することができます。

E メールでシェアする

ホワイトボードの左下にある  をタップし、メールを選択します。



開始する前に、E メールサーバーが設定されていることを確認してください。

QR コードで共有する

左下隅の  をタップすると、インターネットにアクセスできるモバイル機器、またはインタラクティブ・フラット・パネルと同じ LAN 内にある機器は、コードをスキャンしてホワイトボードのコンテンツをダウンロードすることができます。



Figure 7-7 QR コードで共有

7.3.5 その他の機能

ホワイトボードの左下隅にある  をタップすると、分割表示や 2 色表示などの機能が利用できます。

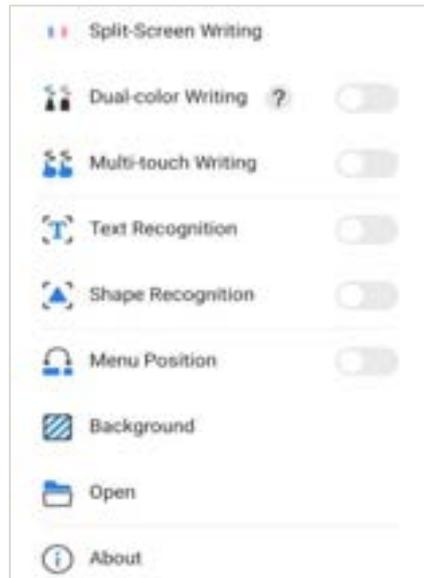


Figure 7-8 その他の機能

スプリットスクリーン・ライティング

分割画面でのホワイトボード同時書き込みをサポート。

-  または  をタップすると、2画面または3画面に切り替わります。
- 分割画面書き込みモードを終了するには、 をタップします。

Note

分割画面数を変更して分割画面ライティングを終了する場合、現在のコンテンツは保存されません。

デュアルカラーライティング

有効にした後、筆記ペンの先端と尾部に書くために異なる色を選択することができる。

Note

ペンのしきい値を調整するためにストロークサポートを長押しする。

マルチタッチ・ライティング

有効にすると、ホワイトボードはマルチフィンガータッチをサポートし、複数の指で同時にホワイトボードを編集できるようになる。

テキスト認識

有効にした後、ホワイトボードは描画されたテキストを認識し、通常のテキストに修正することができます。

形状認識

有効にした後、ホワイトボードは描画されたグラフィックを認識し、通常のグラフィックに修正することができます。



Note

- 円、三角形、長方形、直線など、認識できる図形がある。
- 文字認識と形状認識は同時起動をサポートしていません。

メニューの位置

有効にすると、ホワイトボードの左のメニューと右のページ番号が入れ替わり、機能アイコンやメニューに簡単にアクセスできるようになる。

背景

ホワイトボードの背景と陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。

オープン

VWB 形式で保存されたホワイトボードファイルを再度編集するために開きます。

について

現在のバージョンとオープンソース規約を見る。

7.4 ワンダーキャストサーバー

7.4.1 NFC スクリーンミラーリング

NFC 搭載の 안드로이드 携帯電話は、画面をインタラクティブ・フラットパネルにミラーリングすることができる（携帯電話が WonderCast をインストールし、NFC を有効にした場合のみ）。

Step 1 携帯電話とディスプレイを同じ LAN に接続するか、携帯電話をディスプレイのホットスポットに接続する。

Step 2 携帯電話の背面をインタラクティブ・フラット・パネルの NFC エリアに貼り付けると、携帯電話にプロンプトが表示された後、画面をミラーリングすることができる。

7.4.2 その他のスクリーンミラーリング

パソコンや携帯電話の画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングしたり、パソコンや携帯電話からフラットパネルを操作することができます。WonderCastServer の詳細は以下の QR コードを読み取ってください。



Figure 7-9 ワンダーキャストサーバー

7.5 システム・プリインストール・アプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの簡単な説明です。詳細については、各アプリケーションのヘルプを参照してください。



Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスの種類によって異なります。

Table 7-5 プリインストールアプリケーションの紹介

申し込み	はじめに
ホワイトボード	描画と書き込みに適用される。保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードができる。
ファイルブラウザ	ファイルの管理
ブラウザ	デバイスがネットワークに接続された後、ブラウザでインターネット情報を閲覧することができる。
ギャラリー	SD カードや USB ディスク内の画像を表示するために使用されます。
アップグレード	リモートアップグレード、ローカルアップグレード、ローカルコンポーネントのアップグレードを提供します。
ワンダーキャストサーバー	フラットパネル、携帯電話、PC を接続して画面をミラーリングするためのアプリケーション。
カメラ	カメラでの撮影に使用する。
アーク	集中管理プラットフォームとのドッキングに使用され、プラットフォームを通じてデバイスを遠隔管理し、ファイルの送信やアップグレードを遠隔で行うことができる。
FocSign プレーヤ	デジタルサイネージに番組やスケジュールを公開するために使用さ

ー	れる。
Google Play ストア	アプリ、ゲーム、書籍、映画、その他のエンターテインメントを探し、ダウンロードするためのデバイス向けマーケットプレイスである。
グーグルマップ	世界中の地理的な地域やサイトに関する詳細な情報を提供する。
グーグルフォト	写真やビデオのライブラリ全体を無料でバックアップしてくれるサービスだ。
グーグルドライブ	ファイルをオンラインでアップロード、同期、共有できるクラウドストレージサービスです。
グーグルTV	これは、ストリーミングアプリ、ライブ TV、パーソナライズされたレコメンデーションを 1 つの統一されたユーザーインターフェイスに統合したプラットフォームである。
グーグル・クローム	Google が開発した無料のウェブブラウザで、インターネット上のウェブページにアクセスするために使用される。
Gmail	Google が提供する無料サービスで、インターネット上で電子メールの送受信ができる。
グーグル	Google が提供する検索エンジンである。
グーグルミーティング	ビデオ会議サービスである。
Youtube	動画を共有するためのソーシャルメディア・プラットフォームであり、ウェブサイトである。
Youtube ミュージック	グーグルの音楽ストリーミングサービスである。
グーグルカレンダー	グーグルが作った時間管理・スケジュール管理ツールである。

Chapter 8 付録 A よくある質問

質問	原因と解決策
コンデションが頻繁に画面に現れるのはなぜですか？	外側のスクリーンには保護用の強化ガラスが取り付けられている。スクリーンと強化ガラスの間には空気の対流のための隙間がある。主な理由は、スクリーンと外部との間に温度差があるためだ。高温の空気は低い温度のガラス表面で凝縮し、結露が生じます。結露はデバイスの起動後に蒸発するので、デバイスの使用には影響しません。
接続後、ノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみアクセスした場合、オーディオ出力と画像出力の両方が使用できなくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ● HDMI ケーブルにアクセスします。 ● Windows のオーディオ出力デバイスとしてデバイスを選択します。
使い続けると画面が熱くなるのはなぜですか？	スクリーンの温度上昇は放熱によるもので、まったく正常です。当社の放熱設計は業界をリードし、業界標準の策定者であり、国家衛生標準に準拠しています。
長時間の使用は目にダメージを与えますか？	人間の目がフリッカーを認識する周波数は 50Hz である。周波数が 50Hz より低いと、フリッカーが認識され、目の筋肉が疲労する。当社は 60Hz の LCD スクリーンを使用しており、人間の目はスクリーンのちらつきを認識しません。他の同種の製品と比べて、目の疲労を大幅に軽減することができます。
画面に映像が映らず、音も出ないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルが接続されているか確認してください。 ● ソケットが正常に動作するか確認する。 ● 電源スイッチがオンになっているか確認してください。
HDMI チャンネルに入力信号がありません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力ソースが正常に動作するか確認する。 ● HDMI インターフェースまたはケーブルを変更する。 ● PC にアクセスしている場合は、PC の HDMI 出力を

質問	原因と解決策
	設定してください。
なぜ有線ネットワークは不安定なのか？	自動ネットワーク検出オプションを無効にしてみてください。



See Far, Go Further